学校番号	408

令和８年度　芸術科（音楽）

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「音楽Ⅱ　Tutti＋」　（教育出版）						
副教材等	Recorder Library						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽をつくること」「音楽を聴くこと」の４つの分野を年間を通して学習します。
・学習の到達度は、授業で配付するワークシートや実技テストで評価します。
・音楽の学習は、クラスメートとともに実際にやってみて、試してみてこそ価値あるものとなり、そうして感性が豊かになります。
・音楽が、生涯ずっと、みなさんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています

2　学習の到達目標

音楽Ⅰの学習経験を基盤として，質的に高めた音楽の諸活動を通して，音楽的な見方・考え方を働かせながら，生活や社会の中の音や音楽，音楽文化とより深く関わる資質・能力を育成する。
【知識及び技能】
・音楽Ⅰの学習成果を踏まえ，文化的・歴史的背景や音楽の多様性について理解を深め，より広い視野で音楽を捉えることができるようにする。
・個性豊かな音楽表現を創意工夫できるようにするために，必要となる技能を身に付け高めることができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
・音や音楽を知覚・感受し，思考・判断する過程を充実させ，音楽を評価しながらそのよさや美しさを深く味わって聴く力を高める。
【思考力、判断力、表現力等】
・主体的・協働的な音楽活動を通して，生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに，音や音楽のよさや美しさなどを自ら進んで感じ取ろうとする態度を養う。
・音や音楽と生活や社会との関わりについて考え，音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度や音楽の知的財産権を尊重する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度

観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。知識 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、歌唱、器楽、創作で表している。技能	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)

1 ・ 2	個性豊かな歌唱表現を創意工夫しよう	【歌唱】 ・Pretender ・アヴェ・マリア 【鑑賞】 「アヴェ・マリア」聴き比べ ◎グレゴリオ聖歌 ◎シャルル・グノー ◎ジャック・アルカデルト ◎カミュ・サン＝サーンス ◎トマス・ルイス・デ・ビクトリア ◎ジョスカン・デプレ ◎アントン・ブルックナー	a：【知】曲想と音楽の構造との関わり及びその関わりによって生みだされる表現上の効果について理解している。（歌唱） 【技】創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な，曲にふさわしい発声，身体の使い方などの技能を身に付け，歌唱で表している。（歌唱） 【知】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり，音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解を深めている。（鑑賞） b：音色，旋律，強弱を知覚し，それらの働きを感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，個性豊かに歌唱表現を創意工夫している。（歌唱） 旋律，リズム，速度，テクスチュア，強弱，構成を知覚し，それらの働きを感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに，曲や演奏に対する評価とその根拠，自分や社会にとっての音楽の意味や価値，音楽表現の共通性や固有性について考え，音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。（鑑賞） c：「アヴェ・マリア」を歌って歌唱の技能を高めることに関心をもち，主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。（歌唱） いろいろな「アヴェ・マリア」を聴き比べながら音楽的な見方・考え方を働かせ，音楽Ⅱの学習を豊かに展開していくための力を高めることに関心をもち，主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。（鑑賞	ワークシート 発表 ワークシート	発表 発表 ワークシート	ワークシート 観察 観察 ワークシート

	言葉の特性を踏まえ表現を工夫しよう	【歌唱】 ・Piacer d'amor（伊） ・風の子供（日） ・Yesterday once more（米） ・Let it be（米） ・Ich liebe dich（独） ・Tout, tout pour ma chérie（仏）	a：【知】曲想と音楽の構造や歌詞，文化的・歴史的背景との関わり及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり，それらの関わりによって生みだされる表現上の効果について理解している。 【技】創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な曲にふさわしい発声，言葉の発音などの技能を身に付け，歌唱で表している。 b：音色，リズム，旋律，強弱，構成を知覚し，それらの働きを感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，個性豊かに歌唱表現を創意工夫している。 c：様々な国の言葉の特性や曲にふさわしい発声で表情豊かに歌うことに関心をもち，主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 発表	ワークシート 発表	ワークシート 観察 ワークシート

2	アンサンブルを楽しもう	【器楽】 (リコーダー) ・Down by the sally gardens ・Air～「水上の音楽」から～ ・風の谷のナウシカ～エンディング～ カノン集 (ギター) ・Cavatina ・Can't help falling in love (合奏) ・ミュージックベル (2 部合唱) 大きな古時計	a: 【知】曲想と音楽の構造との関わり，曲想と楽器の音色や奏法との関わり及びそれらの関わりによって生み出される表現上の効果，様々な表現形態による器楽表現の固有性や多様性について理解している。 【技】創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な，曲にふさわしい奏法や身体の使い方などの技能，他者との調和を意識して演奏する技能，表現形態の特徴や表現上の効果を生かして演奏する技能を身に付け，器楽で表している。〃 b: 音色，リズム，速度，旋律，テクスチュア，強弱，形式，構成を知覚し，それらの働きを感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，個性豊かに器楽表現を創意工夫している。 c: リコーダーまたはギターの奏法を身に付け高めることや，音楽の嗜好や技能の習熟度に応じた教材を選択し，個性豊かに器楽表現を創意工夫しながらアンサンブル活動をすることに関心をもち，主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	発表 発表 発表	 発表 発表	ワーク シート 観察 ワーク シート 観察 ワーク シート

	物語と音楽との関わり	【鑑賞】【歌唱】【器楽】 ・キャッツ ・Over the rainbow	a：【知】曲想と音楽の構造や歌詞，文化的・歴史的背景との関わり，言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり及びそれらの関わりによって生みだされる表現上の効果を理解している。（歌唱） 【知】曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景との関わり，楽器の音色や奏法との関わり及びそれらの関わりによって生み出される表現上の効果を理解している。（器楽） 【知】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり，音楽の特徴と文化的・歴史的背景や他の芸術との関わりについて理解を深めている。（鑑賞） 【技】創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な曲にふさわしい発声，言葉の発音などの技能を身に付け，歌唱で表している。（歌唱） b：音色，リズム，速度，旋律，強弱，構成などを知覚し，それらの働きを感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，個性豊かに歌唱表現を創意工夫している。（歌唱） 音色，速度，旋律，テクスチュア，強弱，構成を知覚し，それらの働きを感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに，曲や演奏に対する評価とその根拠，音楽表現の共通性や固有性について考え，音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。（鑑賞） c：総合芸術において物語と音楽が関わり合いながらどのような表現上の効果をもたらしているか，また音楽と他の文化が互いにどのように影響をし合って発展してきたかに関心をもち，主体的・協働的に鑑賞（歌唱）の学習活動に取り組もうとしている。	発表 発表 ワークシート 授業内テスト 発表		ワークシート 観察 ワークシート 観察 ワークシート

3	音階や音素材の特徴を手掛かりに音楽をつくろう	【創作】 ・音のスケッチ③ 音素材の特徴を生かして音楽をつくろう ・音のスケッチ④ 音階から音楽をつくろう	a：【知】音素材，音階の特徴について，表したいイメージと関わらせて理解を深めている。 【技】創意工夫を生かした創作表現をするために必要な，反復，変化，対照などの手法を活用して音楽をつくる技能や，旋律をつくったりつくった旋律に副次的な旋律や和音などを付けたりする技能を身に付け，創作で表している。 b：音色，リズム，速度，旋律，テクスチュア，強弱，構成を知覚し，それらの働きを感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，個性豊かに創作表現を創意工夫している。 c：世界や日本の様々な音階の特徴や音素材の特徴を表したいイメージと関わらせて理解し，個性豊かに創作表現を工夫することに関心をもち，主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている	ワークシート ワークシート	ワークシート	観察 ワークシート

	音楽文化の固有性，共通性を考え演奏しよう	【器楽】 （箏） ・海の声 【鑑賞】 ・ムガーム ・江南絲竹 ・サイン・ワイン	a：【知】曲想と楽器の音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。（器楽） 【知】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり，音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わり，我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について理解を深めている。（鑑賞） 【技】創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な，曲にふさわしい奏法，身体の使い方などの技能を身に付け，器楽で表している。 b：音色，リズム，速度，旋律，テクスチュア，強弱，構成を知覚し，それらの働きを感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，個性豊かに器楽表現を創意工夫している。（器楽） 音色，リズム，速度，旋律，テクスチュア，強弱，構成を知覚し，それらの働きを感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに，曲や演奏に対する評価とその根拠，音楽表現の共通性や固有性について考え，音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。（鑑賞） c：和楽器の音色や奏法の特徴を感じ取ることや，諸民族の楽器と日本の楽器との比較を通して音楽表現や音楽文化の固有性，共通性を考えることに関心をもち，主体的・協働的に器楽や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	ワーク シート 発表 ワーク シート 発表 発表 ワーク シート ワーク シート	 発表 ワーク シート ワーク シート	ワーク シート 観察 ワーク シート ワーク シート 観察 ワーク シート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度